

環境・安全レポート 2016



株式会社 **ADEKA**

三重工場

目次

ごあいさつ	1 頁
1. 三重工場の概要	2 頁
2. 環境保全活動	3 頁
(1) 環境方針	3 頁
(2) 環境目標	3 頁
(3) 各種モニタリング	3 頁
3. 環境マネジメントシステムの状況	4 頁
(1) 環境管理推進組織	4 頁
(2) 環境教育	4 頁
(3) 環境会計	4 頁
(4) グリーン購入	5 頁
4. 環境パフォーマンス	5 頁
(1) 環境負荷のインプットの低減	6・7 頁
(2) 環境負荷のアウトプットの低減	7・8 頁
5. 安全衛生活動	9 頁
(1) 労働安全衛生方針	9 頁
(2) 労働安全衛生目標	9 頁
(3) 安全衛生教育	9 頁
(4) 安全衛生活動の取り組み	9・10 頁
(5) 保安活動	10・11 頁
6. 物流環境・安全活動	11 頁
7. 社会貢献活動	11 頁
(1) 地域とのコミュニケーション	11・12 頁
(2) 清掃活動	12 頁
アンケート	14 頁

ごあいさつ

株式会社 ADEKA は、1917 年に電解法によるか性ソーダの製造を目的として設立（当時の商号は「旭電化工業株式会社」）しました。そして、2017 年に設立 100 周年を迎えました。ADEKA グループは、「新しい潮流の変化に鋭敏であり続けるアグレッシブな先進企業を目指す」、「世界とともに生きる」を経営理念として、「法令の遵守と社会倫理に則った公正・透明な企業活動」、「安全で高品質な商品・サービスの提供」、「環境の保全」、「社会からの信頼確保のための友好的かつ積極的なコミュニケーション・社会貢献活動」、「適正かつ公正な情報開示」、「働きやすい職場環境」、「反社会的勢力の排除」、「健全で持続的な発展と社会への還元」の 8 つを行動憲章としています。この CSR と経済発展とを両立させるという命題に対して、ADEKA グループ一丸となって取り組んでおります。

三重工場は 1965 年の創業以来、プラスチック用樹脂添加剤や情報化学品材料などを製造してきましたが、従来から「環境保全是工場の発展・存続のための最重要インフラ」と位置づけ、同業他社に先駆け環境保全の管理を向上させてきました。これを徹底させるための国際基準である「ISO14001：環境マネジメントシステム」に基づいた改善活動を行っています。また、労働安全衛生も環境保全同様に重要との認識の下に、「OHSAS18001：労働安全衛生マネジメントシステム」に基づいた改善活動を行っています。

三重工場は、種々の環境・安全活動を継続的に行い、2015 年に創業 50 周年を迎えることが出来ました。これも、需要家、株主、地域住民の方々、所轄官庁のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。今後とも、安全・安心であり且つ信頼を得られる工場であり続けられるよう、工場一体となって更なる改善・改革に取り組んでいく所存です。

本報告書は、2015 年度の三重工場の環境・安全に対する取り組みとその成果をまとめたものです。環境面では ① 公害・苦情の発生ゼロ、② 省エネルギーの推進、③ 廃棄物削減、④ グリーン調達の推進、⑤ ゼロエミッションの推進を目標として掲げ、取り組んでまいりました。安全面では、労働災害と通勤途上災害を 0 件とすること（ゼロ災の達成）を目標として掲げ、安全活動を展開してまいりました。また、発生が危惧される南海トラフ巨大地震に備えた BCP【事業継続計画】についても、ブラッシュアップを進め、災害に強い工場作りに取り組んでいます。

2016 年度は 2015 年度の結果とその反省を踏まえ、更に継続的な改善・改革に取り組んでいます。

三重工場は、地域に根ざした企業として、行政や地域社会とのパートナーシップを更に深め、あらゆる機会を通じ地域の発展と環境保全に尽力し、「環境調和型企业」の実現に向けて努力をしていきます。

三重工場の環境保全・安全対策の諸活動を皆様にご理解いただくと共に、ご意見・ご指導をいただければ幸いです。

2017 年 2 月

株式会社 

三重工場長 **高橋 伸**

1. 三重工場の概要

【沿革・事業内容・工場運営】

三重工場は、樹脂添加剤の一つである塩化ビニル用安定剤の製造を目的とし、1965年にアデカ・アーガス化学株式会社 三重工場として生産を開始しました。その後、1990年に旭電化工業株式会社と合併し、旭電化工業株式会社 三重工場となりました。旭電化工業株式会社は、2006年5月1日に社名を株式会社A D E K Aと変更しました。そして、2015年に三重工場は創業50周年を迎えることができました。

三重工場は三重県桑名市郊外の多度山麓の丘陵地帯にあり、現在では塩化ビニル用安定剤、塩化ビニル・ゴム用可塑剤、ポリオレフィン用抗酸化剤、光安定剤などの樹脂添加剤、感熱紙用添加剤、油剤・その他分野の添加剤、液晶パネル用画像材料などの情報化学関係の材料を製造する工場に発展しました。

三重工場は5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の基盤の上に環境、労働安全衛生、品質、設備保全の4つの安全を目標に掲げ、地域住民、顧客、働く人たちが安全・安心を得られる、磐石な体制で運営を行っています。

環境管理については、三重工場は緑豊かな田園地帯に立地することから、工場開設時より環境に配慮した活動を進めてきました。より一層環境に優しい工場を目指し、1996年12月にISO14001の認証を一般財団法人日本品質保証機構(JQA)より取得し、同マネジメントシステムに基づいた改善活動を展開しています。2017年に新規格(ISO14001:2015年度版)への移行を予定しています。労働安全衛生管理は、従来の活動をマネジメントシステムにまとめ、BS8800を基本としたOHSMSの適合証明を2000年9月に受け活動してきましたが、2001年9月にOHSAS18001へ移行しました。現在は2008年に移行したOHSAS18001:2007年度版で運用管理を行っています。品質管理についても1993年5月に国際品質管理システムISO9002の認証を取得しました。こちらも2017年に同新規格(ISO9001:2015年度版)への移行を予定しています。一方、設備保全管理では、TPM活動に取り組み1989年TPM優秀賞第Ⅱ類、その後1995年にTPM優秀賞第Ⅰ類を受賞しました。主要設備については、5Sを基本に計画保全と個別改善活動に基づいた設備保全管理を行っています。

また、2011年度からはMCFS-5G(MCFS=Mie Continuous Five S)と称し、5Sを基本とした①事故・災害を発生させない現場作り、②公害を発生させない現場作り、③異物・品質不良を発生させない現場作り、④工程停止を発生させない現場作り、⑤工場貢献利益*を拡大できる現場作り活動を実施し、安全・安心して働ける職場作りを進めています。更に、今日では事業のグローバル化と共に、海外7カ国に展開する関連会社や工場の技術指導・援助などの技術センターとして重要な役割も果たしています。

工場貢献利益*：工場売上高から(製造+販売)変動費と製造固定費を差し引いた収益



1965年 工場開設時の全景

【工場概要】

開設	:	1965年(昭和40年)10月
敷地	:	100,404 m ² (30,372 坪)
常駐協力会社	:	A D E K A 総合設備株式会社、A D E K A 物流株式会社、株式会社ケイエス、 三重加工サービス株式会社
組織	:	2部10課
勤務形態	:	日勤、2班2交代、4班3交代

2. 環境保全活動

(1) 環境方針

三重工場では下記の環境方針を策定し、方針に従って活動しています。

三 重 工 場 環 境 方 針

<理念>
 株式会社A D E K A 三重工場は、自然豊かな地域に立地している化学工場であることを認識し、環境保全への取り組みを工場運営の最重要課題のひとつとして位置づけ、生物多様性に配慮し、環境と調和した活動を推進し、環境にやさしい工場作りを目指します。

<方針>

- 法規制の遵守と継続的改善
 環境に関する法令・協定および当工場が同意した要求事項ならびに社内基準を遵守すると共に、技術的・経済的に可能な範囲で環境保全の継続的改善に努めます。
- 環境負荷の低減
 工場活動が環境に及ぼす影響を捉え、持続可能な目的・目標を設定し、廃棄物・エネルギー等の環境負荷の低減に努めます。
- 環境保全意識の高揚
 環境教育・啓蒙活動を通じて、従業員一人一人が環境保全意識を向上させ、自主管理の徹底に取り組めます。
- 生物多様性への取り組み
 「生物多様性」に配慮した取り組みを推進し、社会に対する企業の役割を果たしていきます。
- 対外連携の促進
 地域社会の一員としての自覚を持ち、積極的な情報公開で意思疎通の充実を図り、社会に安心と信頼を与える工場作りに努めます。

2016年 10月 1日

株式会社A D E K A 三重工場長 **高橋 伸**

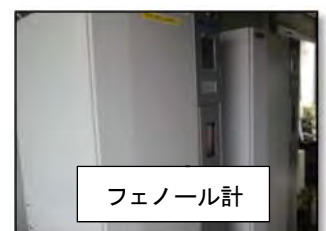
(2) 環境目標

2015年度は、次の目標を掲げ活動してきました。

目 標		結 果	評 価
1. 公害・苦情の発生	0件	1. 0件	達成
2. 省エネルギーの推進	原単位比で対前年 1%改善 (中間体含む全生産量において)	2. 2.3%改善	達成
3. 産業廃棄物削減(添加剤工程)	原単位比で対前年 2%改善	3. 1.7%改善	未達成
4. グリーン調達推進	80%達成	4. 92.5%	達成
5. ゼロエミッションの推進	最終埋立比率を 0.5%未満	5. 0.03%	達成

(3) 各種モニタリング

大気汚染・水質汚濁による環境汚染を防止すべく、三重工場では各種モニタリング機器を配備し監視を行っています。



3. 環境マネジメントシステムの状況

(1) 環境管理推進組織

三重工場では、ISO 14001 の認証を取得し、環境管理に取り組んでいます。

このシステムでは常駐協力会社を含む全ての部門及び階層の役割、責任、権限について明確に規定しています。この規定に基づき、工場一丸となった環境保全活動を行っています。

(2) 環境教育

三重工場では、働く全ての人々に対して、環境マネジメントシステムの周知と自覚の徹底を図っています。全員のレベル向上と環境の継続的改善を進めるための教育訓練計画を全ての部署で作成し、それに則り教育訓練を行っています。また、公的資格の取得にも努めています。資格者一覧を次に示しました。

表-1 主たる資格の取得者一覧表

2016年9月末現在

該当法規制	資格名称	必要者数	取得者数
大気汚染防止法	公害防止管理者 大気1種、2種	2名	8名
水質汚濁防止法	公害防止管理者 水質1種、2種	2名	12名
廃棄物処理法	産業廃棄物焼却施設技術管理士	1名	3名
"	産業廃棄物中間処理施設技術管理士	1名	2名
"	特別管理産業廃棄物管理責任者講習修了者	1名	5名
労働安全衛生法	有機溶剤作業主任者技能講習修了者	27名	146名
"	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習修了者	27名	126名
"	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了者	29名	133名
"	第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習修了者	13名	85名
"	乾燥設備作業主任者技能講習修了者	9名	53名
"	フォークリフト免許取得者	86名	164名
"	クレーン運転業務特別教育修了者	21名	112名
"	1級ボイラー技士	4名	9名
"	2級ボイラー技士	4名	21名
"	ボイラー整備士	0名	4名
"	第1種 衛生管理者	1名	1名
消防法	危険物取扱者甲種	0名	34名
"	危険物取扱者乙種4類	28名	123名
"	危険物取扱者乙種4類以外	7名	60名
省エネ法	エネルギー管理士	1名	3名
高圧ガス保安法	高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械）	1名	1名
"	高圧ガス製造保安責任者（甲種化学、乙種化学、丙種化学）	4名	13名
計量法	計量証明事業試験	1名	3名
電気事業法	第2種 電気主任技術者	1名	1名
"	第3種 電気主任技術者	0名	1名
"	高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育	1名	1名

(3) 環境会計

2015年度の設備投資は、2014年度に対し374百万円（31.9%）減少しました。環境設備投資額は、2014年度に比べ46.8%減少しました。維持管理費用は3%の増加となりました。一方、環境保全対策に伴う経済効果は、66.7%の増加となりました。

表-2 環境会計

単位 千円

	2014年度	2015年度	増減(%)
総設備投資額	1,174,293	800,168	-31.9
環境設備投資額	271,175	144,197	-46.8
維持管理費用	183,460	189,022	+3.0
環境保全対策に伴う経済効果	49,849	83,102	+66.7

(4) グリーン購入







三重工場で使用する事務用品については、その内容（品目）を精査し、積極的にエコ商品を採用することにより、グリーン購入比率を高める取り組みを行っています。2015年度のグリーン購入比率については2014年度に比べ大きく進展し、目標の80%を過達することが出来ました。

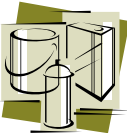

表-3 グリーン購入比率

	2014年度	2015年度
① 事務用品購入点数	349	1,095
② エコ商品購入数	277	1,013
③ 購入比率 (%)	79.4	92.5

4. 環境パフォーマンス（環境保全への取り組みと改善状況）

表-4 インプットとアウトプットのまとめ

INPUT			
【エネルギー】 	項目	2015年度実績	対前年比(%)
	電力(原油換算量) (kℓ)	3,853	-0.4
	蒸気(原油換算量) (kℓ)	3,787	-3.1
	その他(原油換算量) (kℓ)	58.8	+0.3
【水】 	項目	2015年度実績	対前年比(%)
	地下水汲み上げ量 (千t)	2,050	+5.5
【原材料(主原料)】 	項目	2015年度実績	対前年比(%)
	原材料使用量 (t)	19,878	+2.5
OUTPUT			
【大気】 	項目	2015年度実績	対前年比(%)
	CO ₂ 発生量 (t)	19,650	-6.9
	NO _x 排出量 (t)	14.9	+3.5
【化学物質】 	項目	2015年度実績	対前年比(%)
	PRTR物質取扱量 (t)	3,679	+5.2
	PRTR物質排出量 (t)	0.458	+18.0
【水域】 	項目	2015年度実績	対前年比(%)
	COD発生量 (t)	2.7	+42.1
	BOD発生量 (t)	1.4	+55.6
	河川への排水量 (千t)	1,816	+5.8

【製品】 	項目	2015年度実績	対前年比(%)
	製品生産量 (t)	14,002	-0.8
全生産量(中間体含む) (t)	23,468	+0.6	
【廃棄物】 	項目	2015年度実績	対前年比(%)
	廃棄物発生総量 (t)	11,848	-2.7
	外部委託量 (t)	4,299	+0.9
	最終埋め立て量 (t)	5.04	-76.2
	ゼロエミ比率 (%)	0.03	-0.11(ポイント)

(1) 環境負荷のインプットの低減

1) エネルギー使用量

三重工場で使用するエネルギーは、原材料の加熱用蒸気を発生させるために使用する都市ガスと、動力・照明に使用する電力に分けられます。三重工場では、設備保全の向上、省エネ機器の導入、生産効率を高める工程改善などを進め、エネルギー効率を高める努力を進めています。

2015年度については、各種省エネへの取り組み効果もあり、製品1t当りのエネルギー使用量(原単位)は0.550kℓ/tとなり、2014年度比で0.9%改善しました。一方、中間体を含む全生産量に対するエネルギー原単位は0.328kℓ/tとなり、2014年度比で2.3%改善しました。



図-1 エネルギー使用量と原単位

2) 地下水使用量

三重工場では、飲料水を含め、構内で使用する水は全て地下水の汲み上げにより賄っています。工場構内に掘られた井戸から汲み上げられた地下水は、各工程で使用された後、工場から排出されています。その一部は、地下水を有効に利用するため、冷却塔で冷却し、再利用を図っています。

2015年の地下水汲み上げ量は、生産品種構成の変化(特に水を多く使用する中間体の生産増加)に伴い、2014年度比で5.5%増加しました。

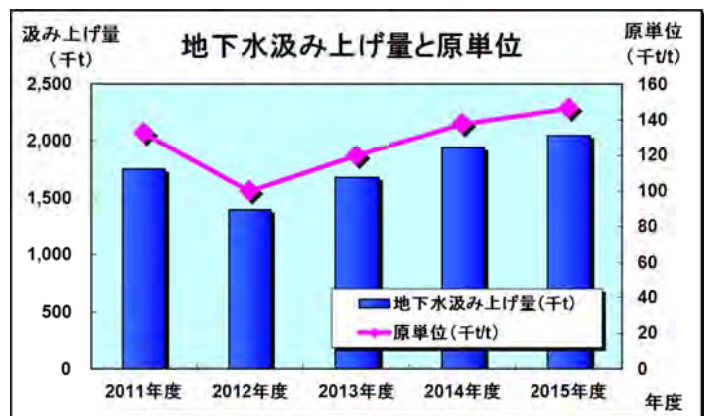


図-2 地下水汲み上げ量と原単位

3) 主たる原材料使用量

三重工場では、複雑な中間体生産工程を経る高機能製品の生産量が増加しています。2015年度の主たる原材料の使用量は19,878tと2014年度比で2.5%増加となりました。

三重工場では資源の有効活用と製造コスト削減の両観点から、原材料のロス分を無くす取り組みを行っています。

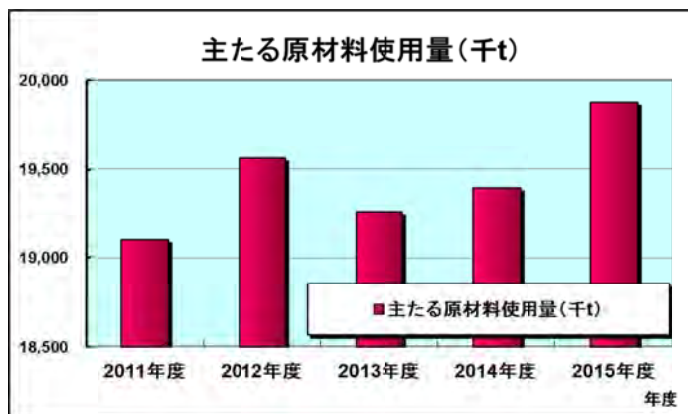


図-3 主たる原材料の使用量

(2) 環境負荷のアウトプットの低減

1) 大気への排出量

① CO₂発生量

三重工場では、生産活動に多くのエネルギーを使用しており、CO₂が発生します。CO₂の発生量は購入電力を含んだエネルギーの使用量に関係しています。

2015年度は2014年度に比べ、CO₂の発生量では6.9%、原単位では6.2%の改善となりました。三重工場では電力と蒸気に注力した省エネ活動を実施していますが、2015年度は省エネ削減効果を上回るCO₂削減効果を得ることが出来ました。

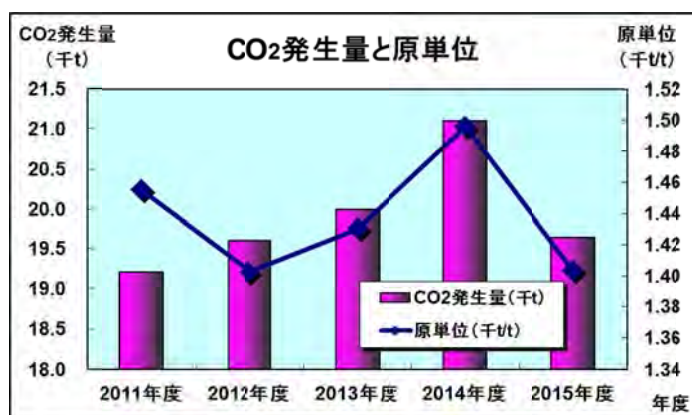


図-4 CO₂発生量と原単位

② NO_x排出量

三重工場では、プロセスの熱源として蒸気を必要とするため、ボイラーを設置しています。2004年度以降はボイラーの燃料転換(重油 ⇒ LNG)により、SO_xの排出はなくなり、NO_xの排出量総量も2004年以前に比較して減少しています。全ての対象設備・機器の排出濃度の実測値は規制値の150ppmを十分に下回っています。

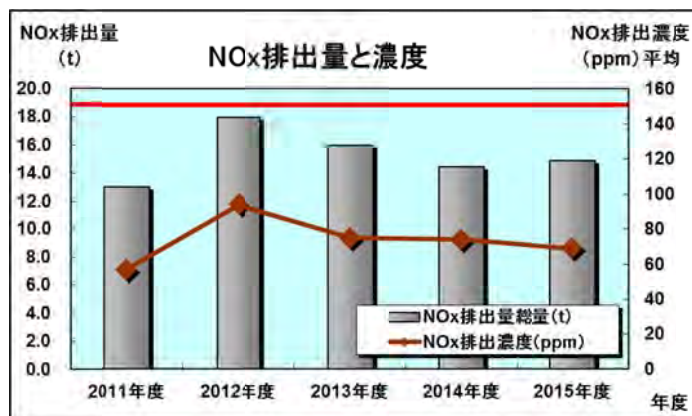


図-5 NO_x排出量と濃度

2) 有害化学物質の排出・移動

三重工場では原材料として多くの化学物質を使用しています。人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質については、取扱量、排出量、移動量の削減に努力しています。製品の多様化により、取り扱う化学物質の種類も増加しています。PRTR法の対象となる第一種指定化学物質の内、2015年度の年間取扱量が1tを越える品目の数は34物質となりました。取扱量は3,679t(2014年度比5.2%増加)、排出量は0.458t(2014年度比18.0%増加)、移動量は36t(2014年度比5.0%増加)でした。



図-6 PRTR対象物質 取扱・移動・排出量

3) 水域への排出量と推移

三重工場の製造工程からは1日に約300tの廃水が発生します。廃水は活性汚泥処理を行った後、雨水・冷却水を除いて全量を公共下水道に流しています。工場廃水については工程改善や設備改善を進め、環境負荷の低減に努めています。

4) 産業廃棄物

生産工程からは各種の産業廃棄物が発生します。2015年度は2014年度に比べ、廃棄物発生量は2.7%減少しました。一方、産業廃棄物処理業者への委託（処理）量については、0.9%の増加となりました。製品1t当たりの原単位は1.7%の増加となりました。三重工場では事業のグローバル展開と共に、生産量が増加している高機能製品（添加剤工程）に的を絞った廃棄物削減活動を展開していますが、添加剤工程における廃棄物原単位は0.430t/tと、2014年比1.7%の削減にとどまりました。

工程改善による産業廃棄物発生量の削減を図ると共に、産業廃棄物の内、利用できるものは再利用、古紙や使用済みドラムなどの有価売却など、資源の有効利用に努めています。

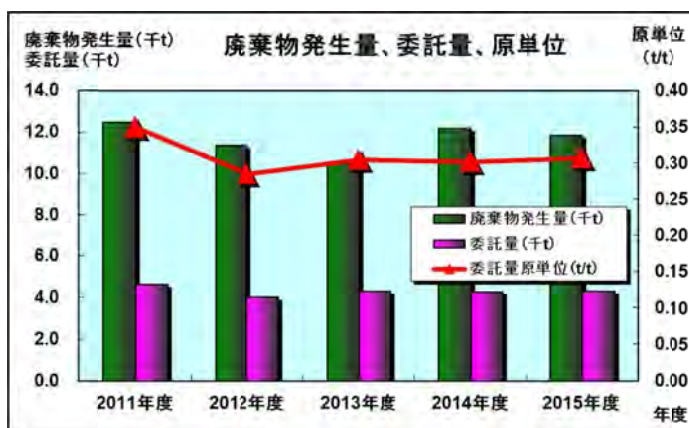


図-7 廃棄物発生量と原単位

三重工場では、産業廃棄物中間処理施設（廃油焼却炉）の排熱を利用し蒸気が発生しています。表-5は各工程で発生した廃棄物を焼却した熱を利用して発生した蒸気量を示します。2015年度の熱回収率は20.0%を維持することが出来ました。

表-5 産廃炉の蒸気発生量と熱回収率

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
リサイクル蒸気発生量 (t)	17,295	15,930	11,905	13,317	12,932
蒸気総使用量 (t)	64,939	62,429	63,584	66,124	64,671
熱回収率 (%)	26.6	25.5	18.7	20.1	20.0

最終埋立量を廃棄物の総発生量の0.1%未満にすべく、産業廃棄物のゼロエミッションに向けた取り組みを進めています。2015年度は一部の委託業者が最終処分方法を変更したことにより、最終埋立処分量は激減し、最終埋立量の廃棄物発生総量に対する比率（ゼロエミ比率）は0.03%と完全ゼロエミッション*を達成しました。

* 当社は最終埋立量が産業廃棄物発生量の0.1%未満になることを完全ゼロエミッションと定義しています。

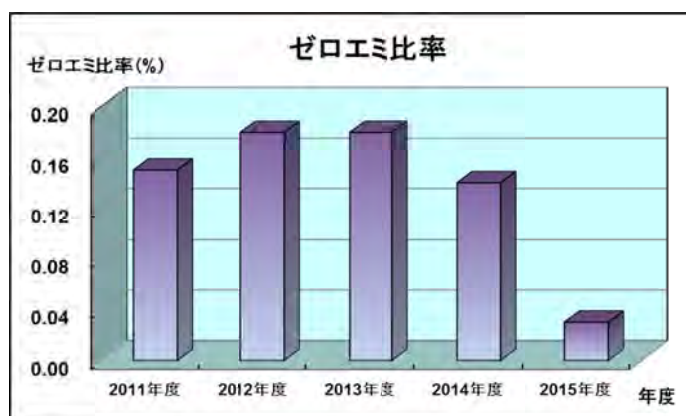


図-8 ゼロエミ率の推移

5. 安全衛生活動

(1) 労働安全衛生方針

三重工場労働安全衛生方針	
<p><理念> 株式会社ADEKA 三重工場は、社会の一員として労働安全衛生が工場活動の基盤であることを認識し、安全で快適な職場作りを推進すると共に、社会に安心と信頼を与える工場作りを目指します。</p>	
<p><方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法規制の遵守 労働安全衛生に関する法令・協定および当工場が同意した要求事項ならびに社内基準を遵守します。 ○ 安全・健康の確保 取り扱い物質および設備の性質を把握し、取り扱い方法・設備の適正な管理を実施し、傷害及び疾病を予防します。適正な目標を定め、作業環境並びに労働安全衛生パフォーマンスの継続的改善に取り組みます。 ○ 労働安全衛生意識の高揚 教育・啓蒙活動を通じて、従業員一人一人が労働安全衛生意識を向上させ、自主管理の徹底に取り組みます。労働安全衛生目標を設定し、目標を実行するための方向性を示します。 ○ 対外連携の促進 地域社会の一員としての自覚を持ち、積極的な情報公開で意思疎通の充実を図り、社会に安心と信頼を与える工場作りに努めます。 	
<p>2016年 10月 1日</p> <p>株式会社ADEKA 三重工場長 高橋 伸</p>	

(2) 労働安全衛生目標

2015年度は、次の目標を掲げ活動してきました。

目 標	結 果	評 価
1. 労働災害・事故 ① 休業災害0件の必達 ② 不休災害・微傷災害の撲滅 ③ フォークリフト安全運転と通勤途上災害などの交通事故の撲滅 ④ 協力会社及び工事業者災害ゼロ	1. 労働災害・事故 ① 休業災害2件 ② 不休災害1件・微傷災害1件 ③ フォークリフト災害0件 通勤途上災害1件 ④ 協力会社災害3件（上記の内数） 工事業者災害0件	未達成 未達成 未達成 未達成
2. 労働衛生・健康管理の強化 ① 各種健康診断受診率100% ② 有所見率60%以下	2. 労働衛生・健康管理の強化 ① 受診率100% ② 上期42.5%・下期40.3%	達成 達成

(3) 安全衛生教育

労働安全衛生マネジメントシステムでは、工場の全部門の役割、責任、権限を遂行するために、全ての従業員に労働安全衛生マネジメントシステムの周知と自覚の徹底を図り、必要な資格等の取得を進めています。その方策として、各部署で教育・訓練計画を作成し、それに則り教育・訓練を行っています。

(4) 安全衛生活動の取り組み

1) 2015年度の安全活動

三重工場では、従来からヒヤリハット活動、安全改善／提案活動などの展開により、災害発生防止に努めてきました。2015年度の取り組みにおいても、各種安全点検、安全キャンペーンを実施し、日常の生産活動における安全意識を高めてきました。更に、基本の安全教育を徹底し、災害防止に取り組んでいます。



図-9 設備点検の様子



図-10 工場ルール集の一部

2) 安全成績

2015 年度は災害ゼロの目標に対し、休業災害が 2 件（熱中症：休業 2 日、挟まれによる骨折：休業 7 日）発生しました。不休災害・微傷災害は合計で 2 件発生し、ゼロ災の達成は出来ませんでした。（通勤途上災害は 1 件）

近年の傾向として、情報（教育不足）、事前の危険予知が不十分であったために発生した災害が多くなっています。この点を踏まえ、危険な状態と危険な行動に対する気付き（感性）を高めるべく、より理解を深める安全教育に重点を置く他、危険予知活動などの各種安全活動を展開しています。

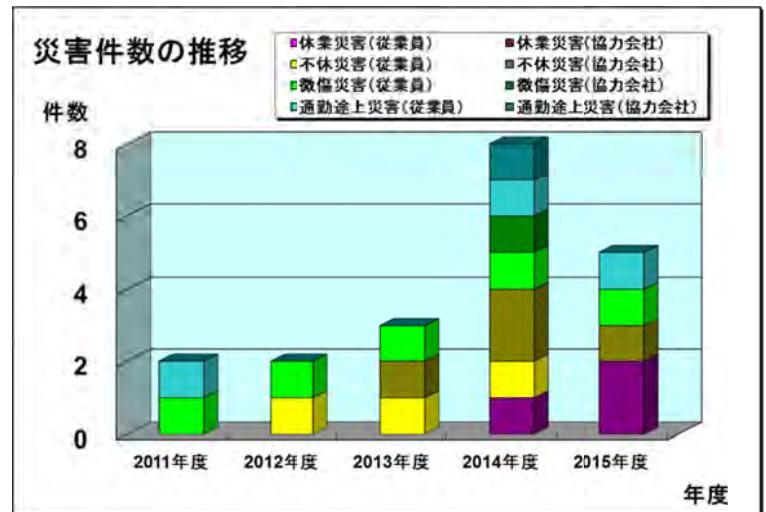


図-11 災害件数の推移

(5) 保安活動

【緊急事態への対応】

緊急時の対応について、三重工場では、基準・標準などに規定して対策をしています。火災やガス洩れなどの緊急事態に対しては、初期段階で検知し警報を発するシステムを備えています。更に、発生部署での初期緊急対応の体制と、工場全体での自衛消防隊が出動する体制を敷いています。

初期緊急対応と自衛消防隊の要員は消防操法・救急救命など、訓練され経験のある従業員で構成されています。2015 年度は 8 月 7 日に地震発生に伴う火災発生を想定した総合防災訓練（緊急対応訓練、避難訓練、初期消火訓練）を、桑名市消防本部・東員消防署と合同で実施しました。



南海トラフ巨大地震に対する不安が高まる中、三重工場においても防災対策を進めています。具体的には BCP（事業継続計画）構築の中で、地震による危険箇所の特定と事前対策の構築、防災備品の配備、防災組織・機能の見直し、復旧計画の構築などの備えを進めています。



非常用ディーゼル発電機



防災備品倉庫

2013年4月にその運用を開始した巨大地震を想定したBCP（事業継続計画）については、適宜その内容を見直し、危機管理強化を図っています。

6. 物流環境・安全活動

生産活動と同様に物流部門でも環境・安全活動に取り組んでいます。運送会社の協力を得てアイドリングストップ活動に取り組み、環境保全に努めています。

三重工場の製品の一部は消防法の危険物に当ることから、万が一の輸送中の事故に備え携行しているイエローカードに基づく通報訓練を定期的に工場と運送会社が連携して行っています。

また、製品を安全にお客様の元へお届けするには、交通事故の防止にも努めることも重要であり、運送会社単位で自動車事故対策センターの適性診断を受けるなどの取り組みを行っています。

**アイドリング
STOP!**

環境保全活動を実施しています。
次の事項を守って、環境保全活動にご協力をお願いします。

- ◎入門手続き後は、速やかに荷降ろし場所へ移動願います。
- ◎移動の際は、空ふかし・急発進・急ブレーキを避けて下さい。
- ◎荷降ろし場所へ着いたら速やかにエンジンを停止願います。
- ◎構内速度 20キロ以下で走行してください。

ADEKA 株式会社 ADEKA

三重工場 製造管理課
ADEKA物流株式会社

7. 社会貢献活動

(1) 地域とのコミュニケーション

1) 施設の開放

三重工場は、地域との関わりを大切にし、野球場及びテニスコートを地域に開放しております。

野球場は、地元のスポーツ少年団のチームの育成などに活用していただいています。



2) 東員町商工祭

地域産業の発展の一助となるべく、地域の商工会活動などにも積極的に参加いたしました。



3) 東員町小学生・中学生勤労体験学習

三重工場は、未来を担う「子供たち・若者たち」の勤労観・職業観の育成に貢献しています。

2015年度は地元3校の小中学校の要請により、勤労体験学習の受入を行いました。更に高校からのインターンシップ、工場見学の受入も行いました。



4) 地域ボランティア

三重工場は、毎週月曜日の朝に地元団地内の交差点二箇所、小中学校の児童・生徒に対して交通指導を実施しています。2015年度はこれまでの功績が認められ、東員町立城山小学校 PTA 会長から感謝状をいただきました。

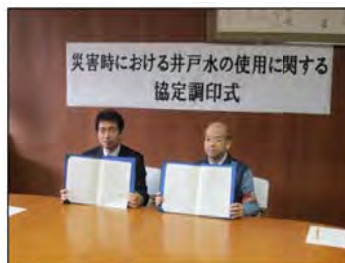


5) 地域支援

伊勢志摩サミットの開催にあたり、2016年3月16日に伊勢志摩サミット三重県民会議に寄付金を贈呈しました。

募金活動では、夏祭りで販売したドリンク代の収益金を東員町役場に寄付いたしました。その他、共同募金への参加、管理職共済会の積立金の一部を東員町福祉協議会に寄付しています。

また、災害時における井戸水の提供について、2016年1月8日に東員町と災害協定を締結しました。



(2) 清掃活動


工場周辺の一斉清掃

工場周辺地域への貢献として、工場周辺の美化活動（清掃）を毎月1回実施しています。



この環境・安全レポートに関する質問、ご意見は下記の窓口へお願いします。

作成 株式会社A D E K A 三重工場 安全・環境管理委員会事務局
確認 株式会社A D E K A 三重工場 安全・環境管理責任者 高橋真木雄
窓口 株式会社A D E K A 三重工場 業務部 業務課長 伊藤博也
住所 〒511-0251 三重県員弁郡東員町山田 3707 番地の 1
TEL 0594-76-2330(代) FAX 0594-76-3011

株式会社  三重工場 業務部 業務課

ご意見をお聞かせください

私たちは地球環境の保全と労働安全衛生に積極的に取り組んでおります。

今回、環境・安全レポート2016を発行いたしました。未だ不十分な面が多々あるかと思っております。皆様より頂いたご意見、感想を参考とさせていただき、より良い活動を進めたいと考えています。皆様の忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

株式会社 **ADEKA** 三重工場
安全・環境管理委員会事務局
FAX 0594-76-3011

1. この環境・安全レポートの記載項目はいかがですか。
a. 物足りない b. 普通 c. 充実している d. その他()
2. この環境・安全レポートの記載内容はいかがですか。
a. 理解できない b. 普通 c. よく理解できた d. その他()
3. ご意見、ご感想をお願いします。

※ お名前、ご住所などは個人情報となりますので、記入は任意です。ご記入いただいた個人情報は本アンケートの調査・分析や今後のCSR活動のご参考にさせていただき目的に限り利用させていただきます。また、個人情報は適切に管理し、第三者への開示は行いません。

ご勤務先 _____ お名前 _____

連絡先ご住所 _____

電話番号 _____ FAX 番号 _____